

2021年度まちづくりネットモニター第7回調査結果  
 テーマ「まちづくり基本指針の見直しについて」



本市では、2018年度から2025年度を計画期間とする「あすまちこおりやま(郡山市まちづくり基本指針)」(以下、「基本指針」)を市民の皆さまと協働で策定し、将来都市構想の実現に向けた施策に取り組んでいます。

今年度は、計画期間の前期4年間の最終年度にあたり、後期4年間の更なる推進に向けて、幅広い市民の皆さまの御意見を反映させた基本指針へと改定するために、アンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

(政策開発課)

調査概要

- 調査期間 令和3年8月23日(月)～8月29日(日) (7日間)
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を送信する。
- モニター数 360名 (男性 164名 女性 196名)
- 回答者数 328名 (男性 153名 女性 175名)
- 回答率 91.1%



まちづくり基本指針  
公開ページ

【分析】

《回答者内訳(人)》

性別/年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	3	5	14	29	35	14	42	11	153
女性	4	11	37	60	41	18	3	1	175
合計	7	16	51	89	76	32	45	12	328

《郡山市まちづくり基本指針の認知度》

「郡山市まちづくり基本指針」について、「知っている」が11.6%、「聞いたことあるが内容は知らない」が37.8%となっており、約半数の50.6%が「知らない」と回答している。また、「知っている」と回答した方のうちウェブサイトで「郡山市まちづくり基本指針」を公開していることを「知っている」と回答したのは85.7%となっている。

《郡山市まちづくり基本指針の大綱別の関心度について》

全体では「大綱Ⅴ 暮らしやすいまちの未来」分野の取組みに対する関心が75.0%と最も高かった。特に力を入れて取り組む必要があると思う分野においても「大綱Ⅴ 暮らしやすいまちの未来」が39.3%と最も高い割合を示した。

《郡山市まちづくり基本指針の改定で盛り込む予定の取組みのうち、特に大切だと思うものについて》

「新型コロナウイルス感染症対策」が61.0%と最も高かった。また、こおりやま広域圏に関する取組みについて特に大切であると思う取組みにおいても「新型コロナウイルス感染症対策」が43.3%と最も関心が高かった。

【考察】

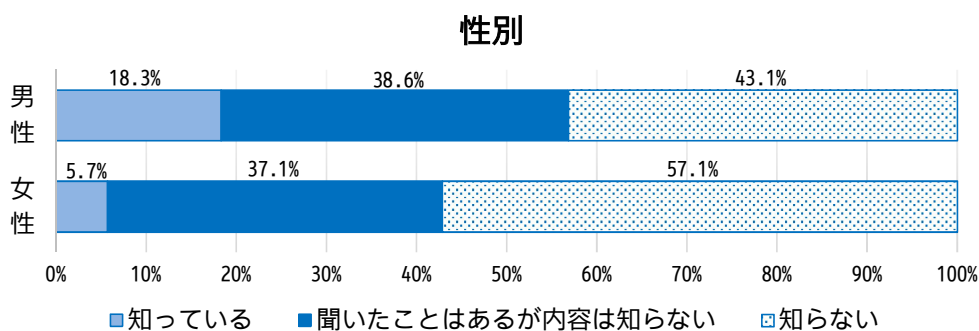
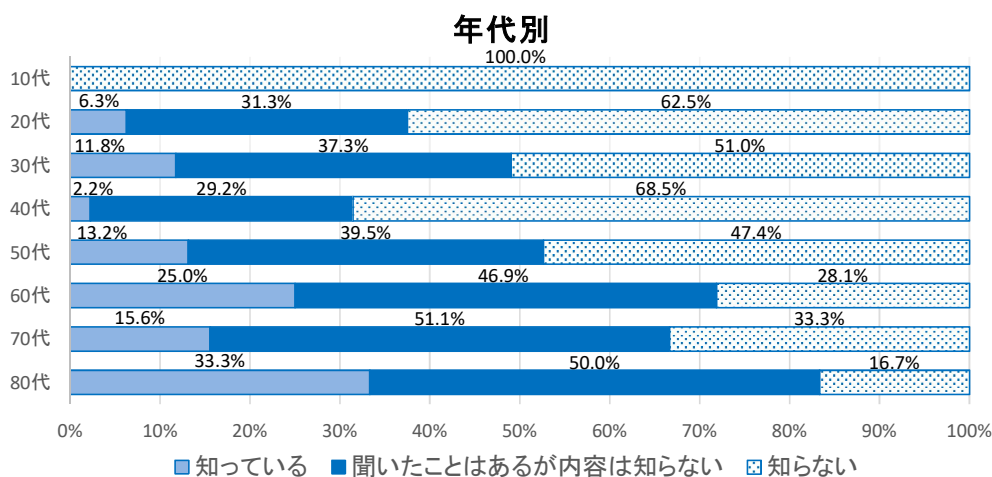
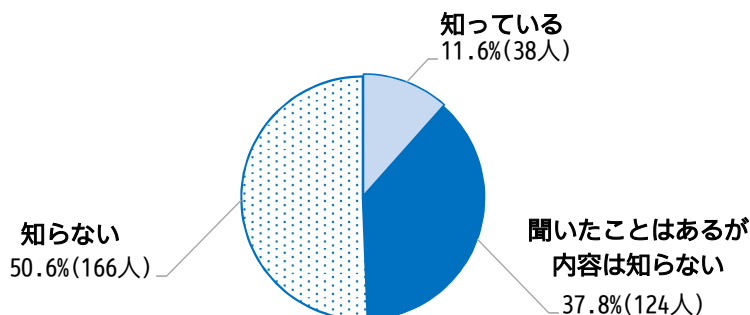
・郡山市まちづくり基本指針に対する認知度は、回答者の約半数が「知らない」と回答しており、年代別では40代以下の若年層を中心にその割合が高い傾向が見られた。市民のまちづくりへの関心を高めるために、メディア媒体等を活用して広く周知する必要がある。

・大綱別の関心度と力を入れて取り組むべきと考える分野は、いずれも「暮らしやすいまちの未来」が各年代別で高い割合を示した。また、今回の後期見直しにおいて盛り込む予定の取組みでは「新型コロナウイルス感染症対策」が最も関心の高い結果となっており、あすまち会議こおりやま、パブリックコメント及び郡山市総合計画審議会での意見と併せて反映し、後期見直しを進めていく必要がある。

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

問1 「郡山市まちづくり基本指針」について、ご存知ですか？（1つ選択）

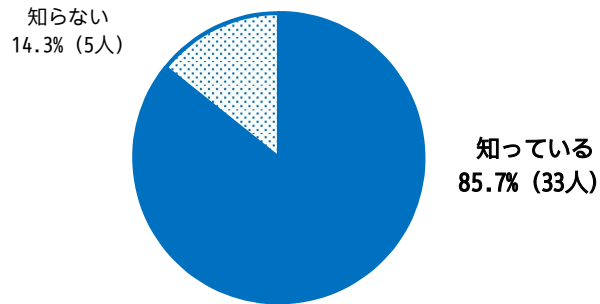
（回答者：328人）



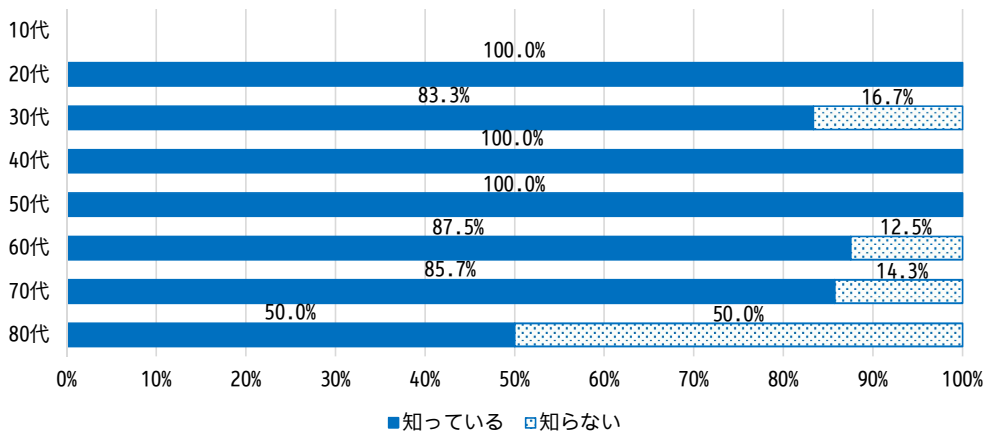
「郡山市まちづくり基本指針」について、「知らない」が50.6%であり、次いで「聞いたことあるが内容は知らない」が37.8%であった。  
 年代別では、10代から50代までで約半数またはそれ以上「知らない」と回答した。  
 男女別では、女性の方が男性よりも14ポイント多く「知らない」と回答した。

問2 問1で「知っている」を選択した方にお伺いします。郡山市ウェブサイトで「郡山市まちづくり基本指針」を公開していることをご存知ですか？（1つ選択）

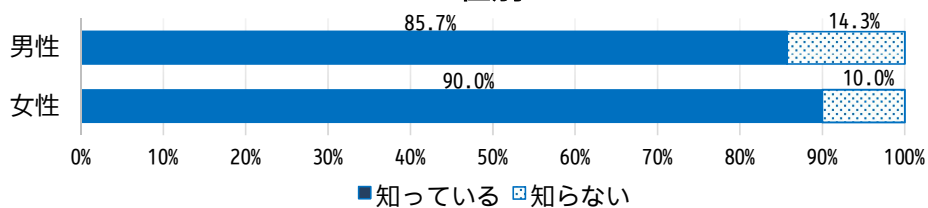
（回答者：38人）



### 年代別



### 性別



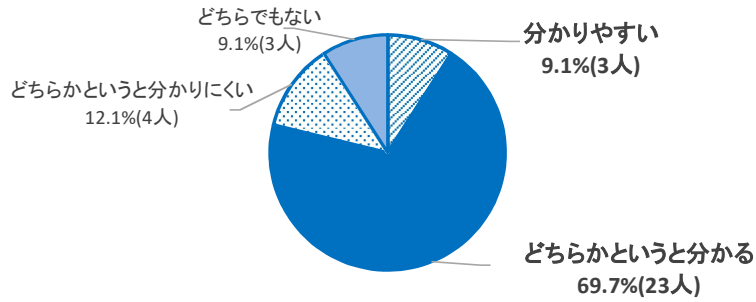
基本指針について「知っている」と回答した方のうち、市のウェブサイトで内容を公開していることを知っている方は、85.7%であった。

年代別では、ほとんどの年代で「知っている」が上回っているが、10代は認知がなく、80代は50%であった。

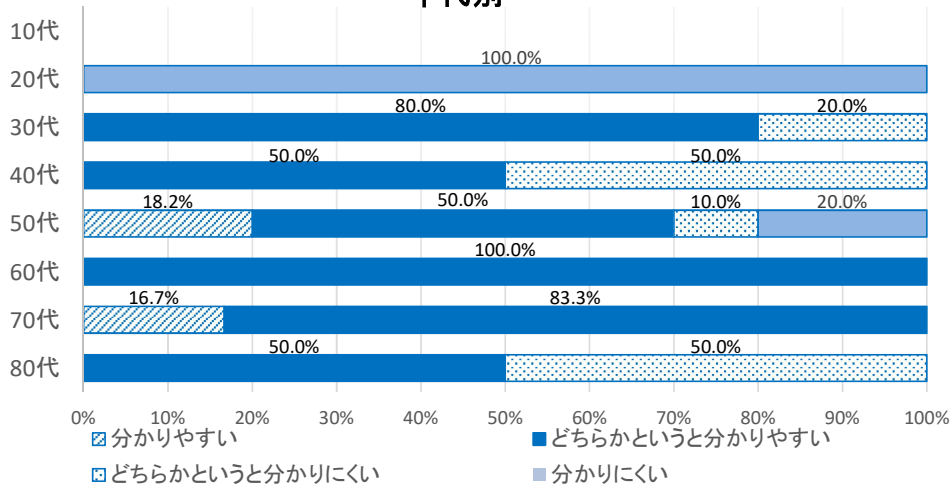
男女別では、大きな差異は見られなかった。

問3 問2で「知っている」を選択した方にお伺いします。基本指針の内容は分かりやすかったですか？（1つ選択）

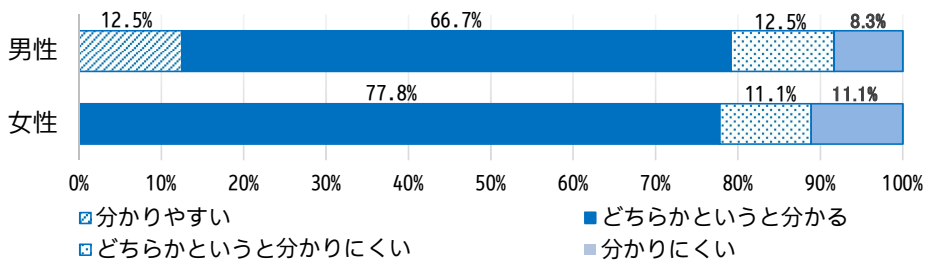
（回答者：33人）



### 年代別



### 性別



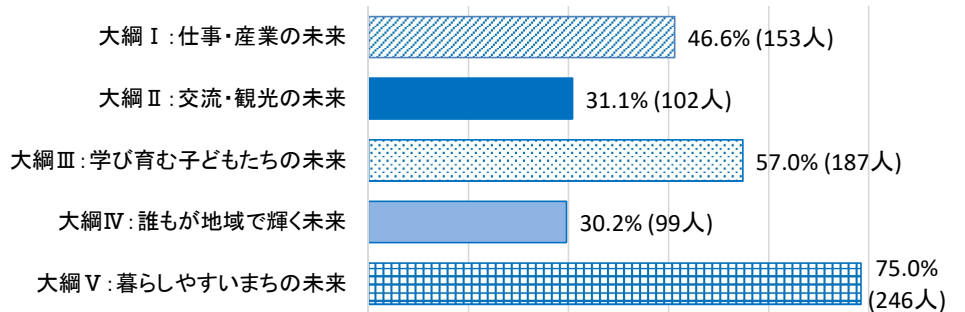
市ウェブサイト「郡山市まちづくり指針」が公開されていることを知っている方でその内容について、『わかる』と回答した方は78.8%であった。  
 年代別では、40代と80代で「わかる」比率と「わかりにくい」比率が半々であった。  
 男女別では、大きな差異は見られなかった。

問4 問3で「どちらかというとなりにくい」または「なりにくい」を選択した方にお伺いします。それはなぜですか？その理由をお書きください。 (回答者：5人)

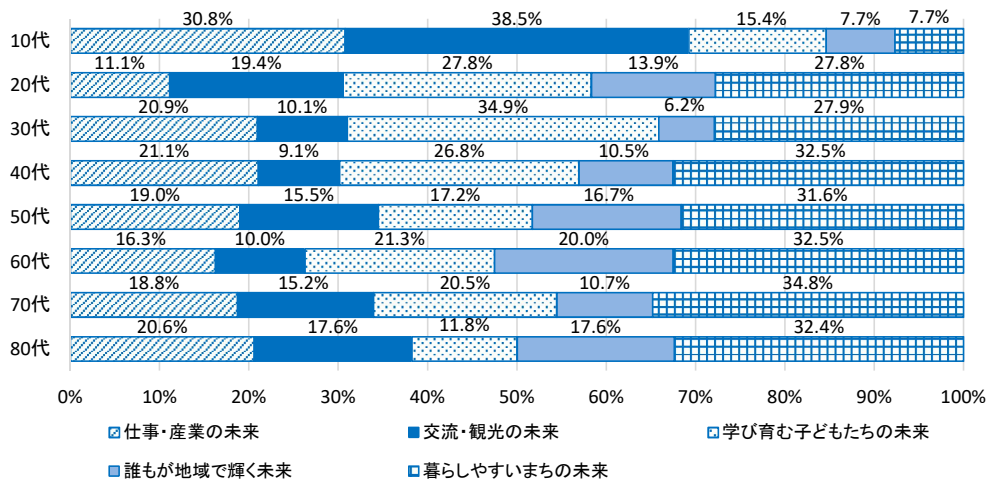
- 文章が多いのもっと要点を絞ったほうが良い
- 概念的すぎてピンと来ない
- 総合計画との関係がつかみづらい
- 高齢者には理解しにくい文言だから

※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがあります。

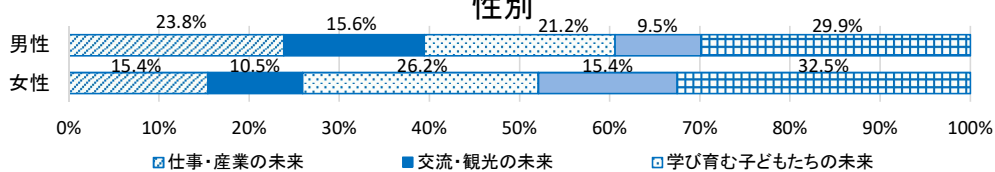
**問5 基本指針は5つの大綱により構成され、各分野の将来構想を定めています。大綱のうち、どの分野の取組みに関心がありますか？（3つまで選択可）**（回答者：328人）



**年代別**



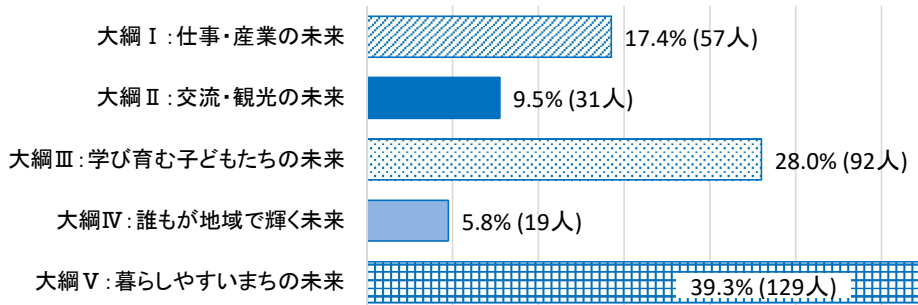
**性別**



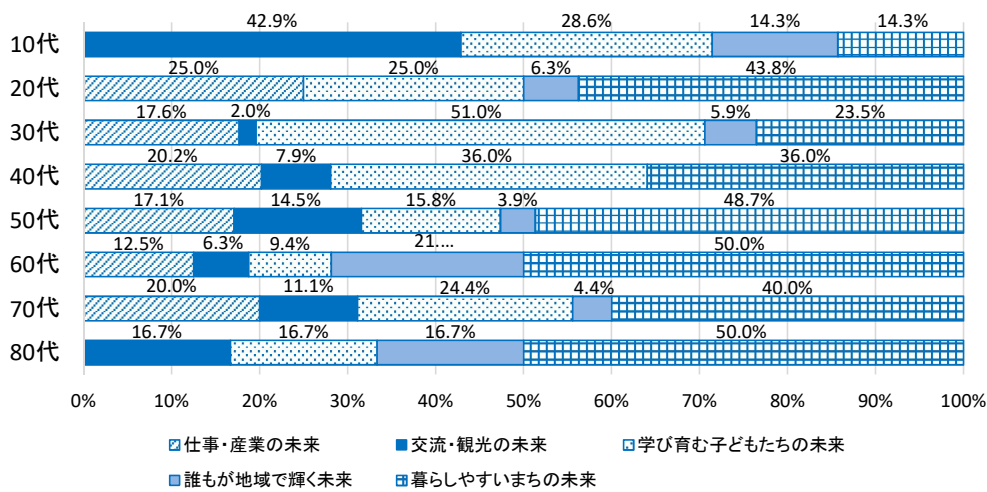
まちづくり基本指針の柱である5つの大綱のうち、関心のある分野は「暮らしやすいまちの未来」が75.0%と最も多く、次いで「学び育む子どもたちの未来」57.0%、「仕事・産業の未来」46.6%となった。  
年代別では、20代から40代の子育て世代で「学び育む子どもたちの未来」の割合が他の世代よりも多かった。

問6 基本指針の5つの大綱のうち、郡山市が特に力を入れて取り組む必要があると思う分野はどの分野の大綱ですか？（1つ選択）

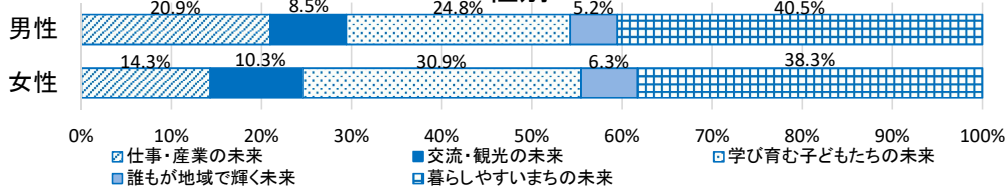
（回答者：328人）



年代別



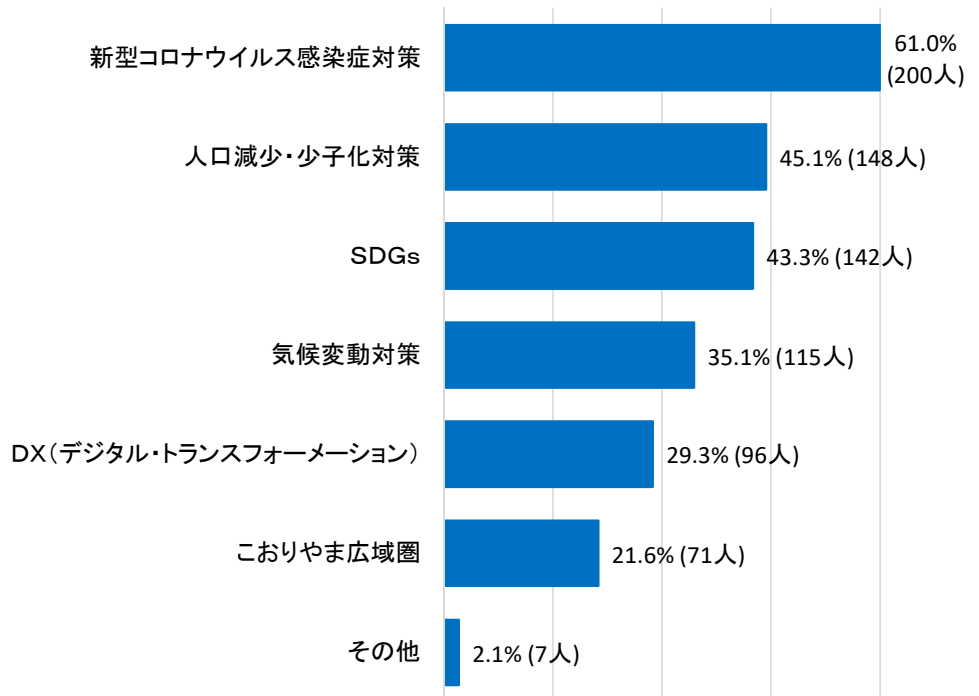
性別



まちづくり基本指針の5つの大綱のうち、市が特に力を入れて取り組む必要があると思う分野は「暮らしやすいまちの未来」が39.3%と最も多く、次いで「学び育む子どもたちの未来」28.0%、「仕事・産業の未来」17.4%となった。  
問5の関心のある分野と問6の市に力を入れて欲しい分野の順位は同列となっている。

問7 今回の基本指針の改定で盛り込む予定である以下の取組みのうち、今後のまちづくりにおいて特に大切だと思う（関心がある）取組みは何ですか？（3つまで選択可）

（回答者：328人）



※「その他」を選択した方の主な意見

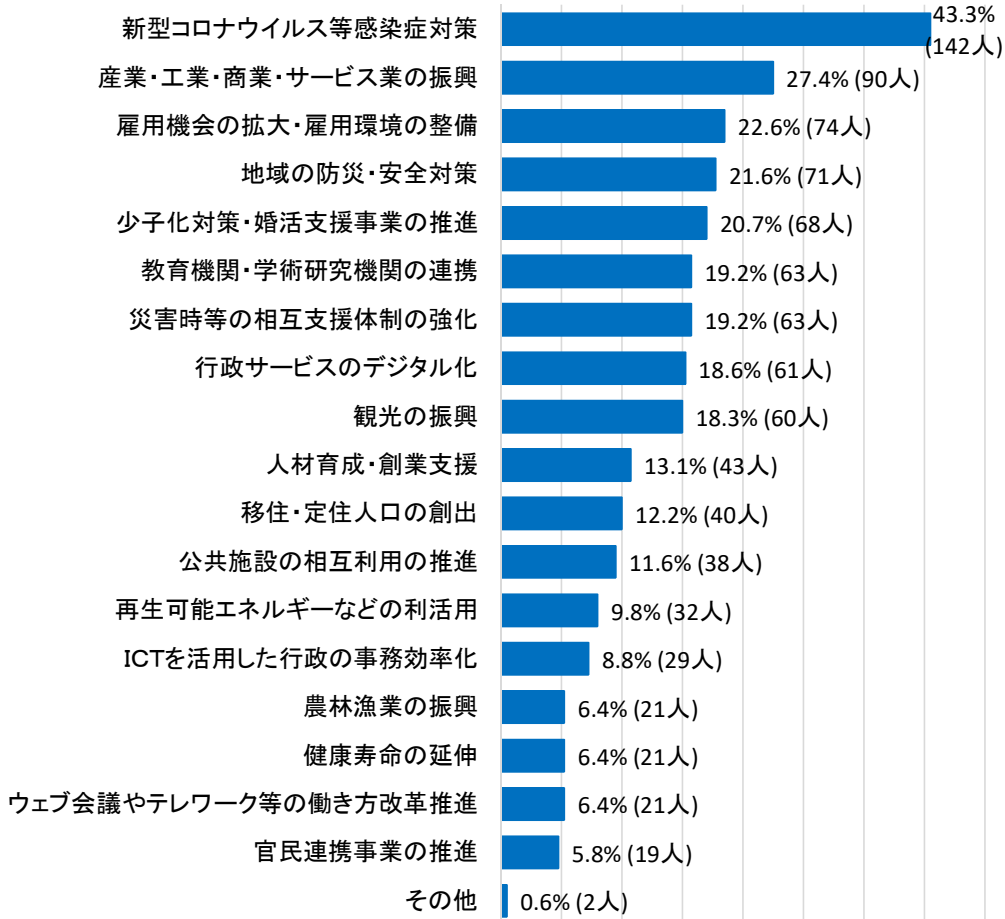
- ・防犯対策強化
- ・健全な娯楽施設（シネコンなど）と駅前の活性化
- ・経済活動に対する規制緩和

今後のまちづくりにおいて特に大切だと思う（関心がある）取組みは、「新型コロナウイルス感染症対策」が61.0%で最も多く、次いで「人口減少・少子化対策」が45.1%、「SDGs」が43.3%となっている。



問8 こおりやま広域圏に関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは何ですか？（3つまで選択可）

（回答者：328人）



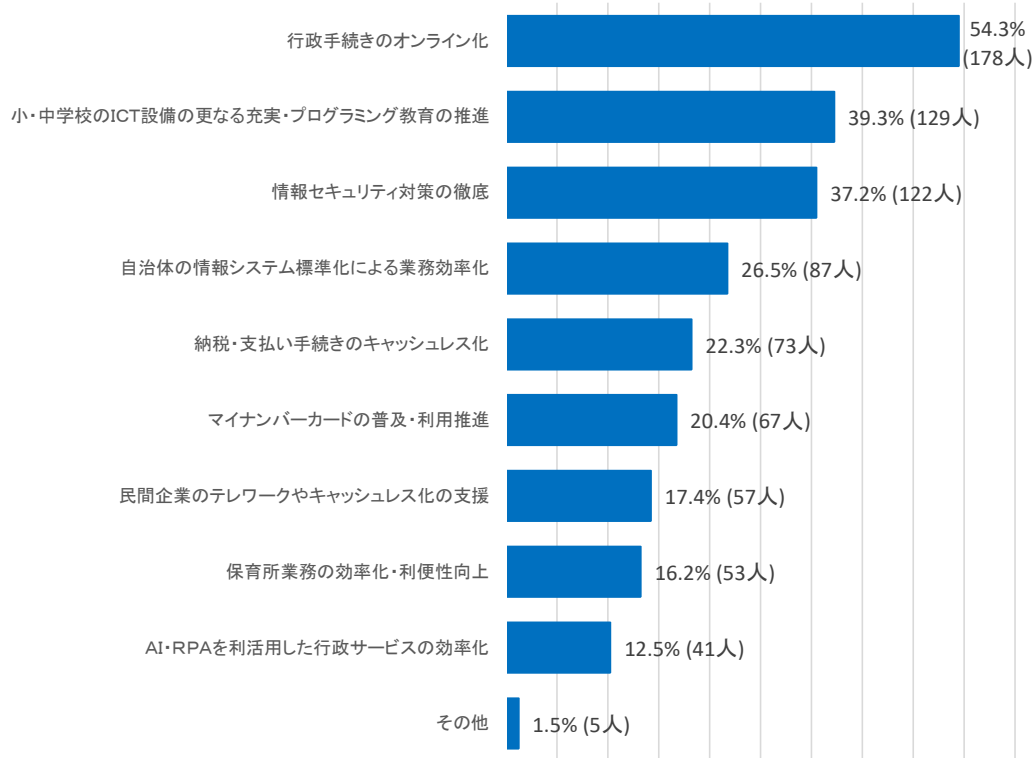
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・強いウリとなる各地域での特色やキーマン的な住人の個性

こおりやま広域圏に関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは「新型コロナウイルス等感染症対策」が43.3%で最も高く、次いで「産業・工業・商業・サービス業の振興」27.4%、「雇用機会の拡大・雇用環境の整備」22.6%となっている。

問9 DXに関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは何ですか？  
（3つまで選択可）

（回答者：328人）



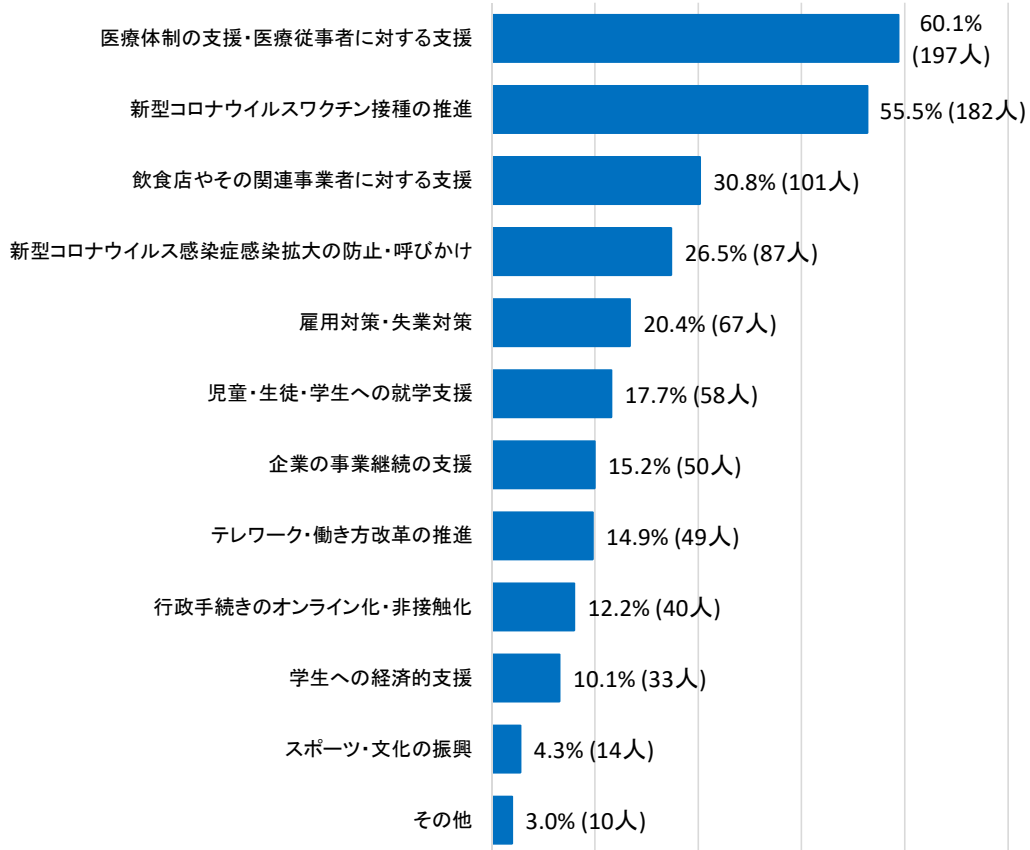
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・行政職員・議員数を適正化するべき
- ・行政の行き過ぎたデジタル化を懸念している
- ・教育現場ではAI化より対面授業が望ましい
- ・行政の仕事は取りこぼしのないことが最優先である

DXに関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは、「行政手続きのオンライン化」が54.3%で最も高く、次いで「小・中学校のICT設備の更なる充実・プログラミング教育の推進」39.3%、「情報セキュリティ対策の徹底」37.2%となっている。

問10 新型コロナウイルス感染症対策に関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは何ですか？（3つまで選択可）

（回答者：328人）



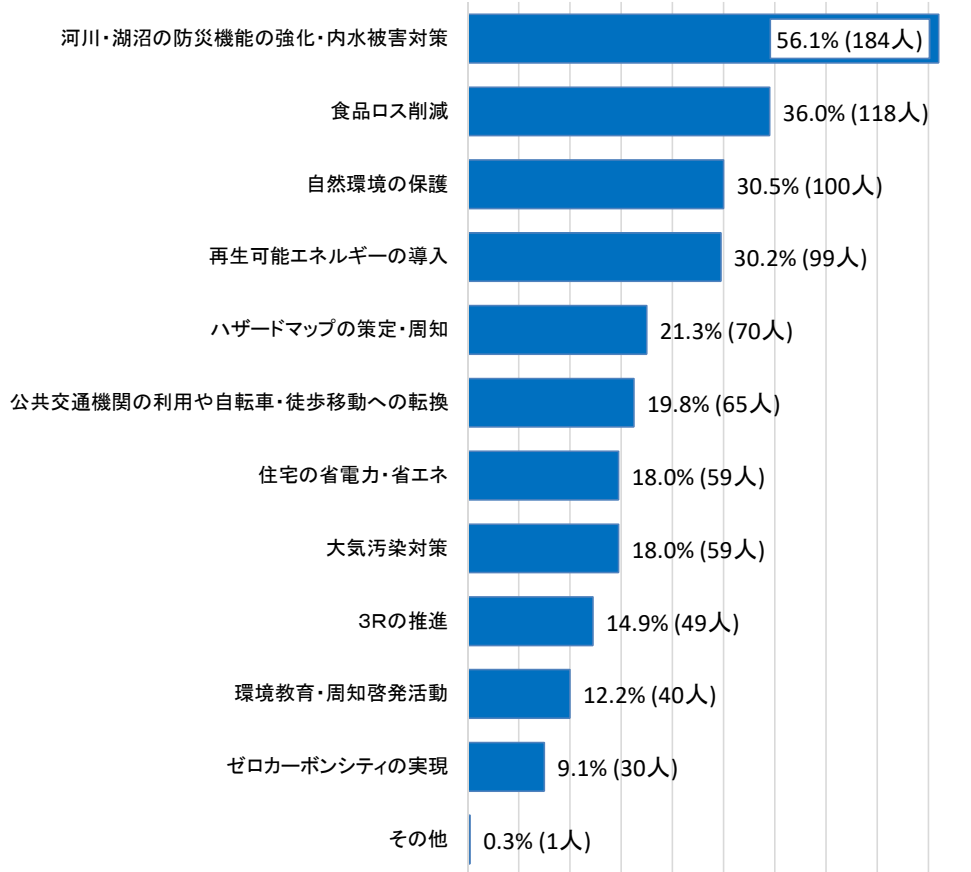
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・感染対策を徹底した上で、通常的生活・経済活動を目指すべき
- ・医療受け入れ態勢強化のための設備・人材の構築
- ・飲食店等への換気等の指導
- ・全市民への経済的支援

新型コロナウイルス感染症対策に関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは「医療体制の支援・医療従事者に対する支援」が60.1%で最も高く、次いで「新型コロナウイルスワクチン接種の推進」55.5%、「飲食店やその関連事業者に対する支援」30.8%となっている。

問11 気候変動対策に関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは何ですか？（3つまで選択可）

（回答者：328人）



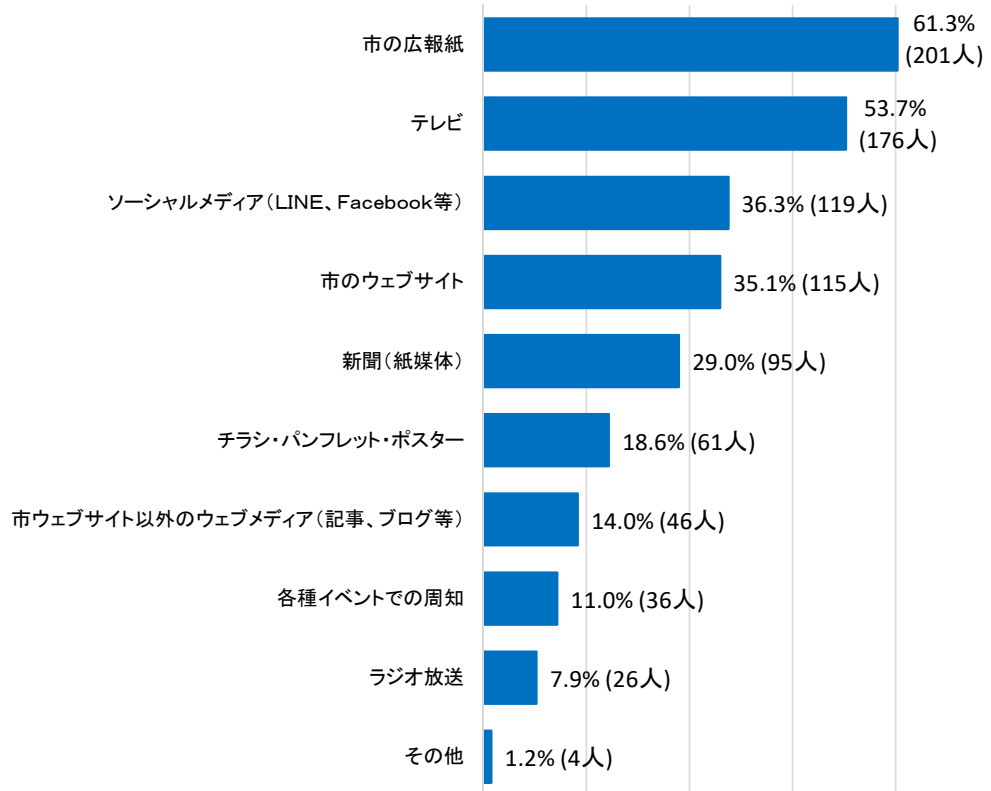
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・自分達の生活が気候変動を生じさせていることを自覚させること

気候変動対策に関する取組みのうち、特に大切だと思う（関心がある）取組みは「河川・湖沼の防災機能の強化・内水被害対策」が56.1%で最も高く、次いで「食品ロス削減」36.0%、「自然環境の保護」30.5%となっている。

問12 基本指針をPRするにあたり、次のうちどの方法が効果が高いと思いますか？（3つまで選択可）

（回答者：328人）



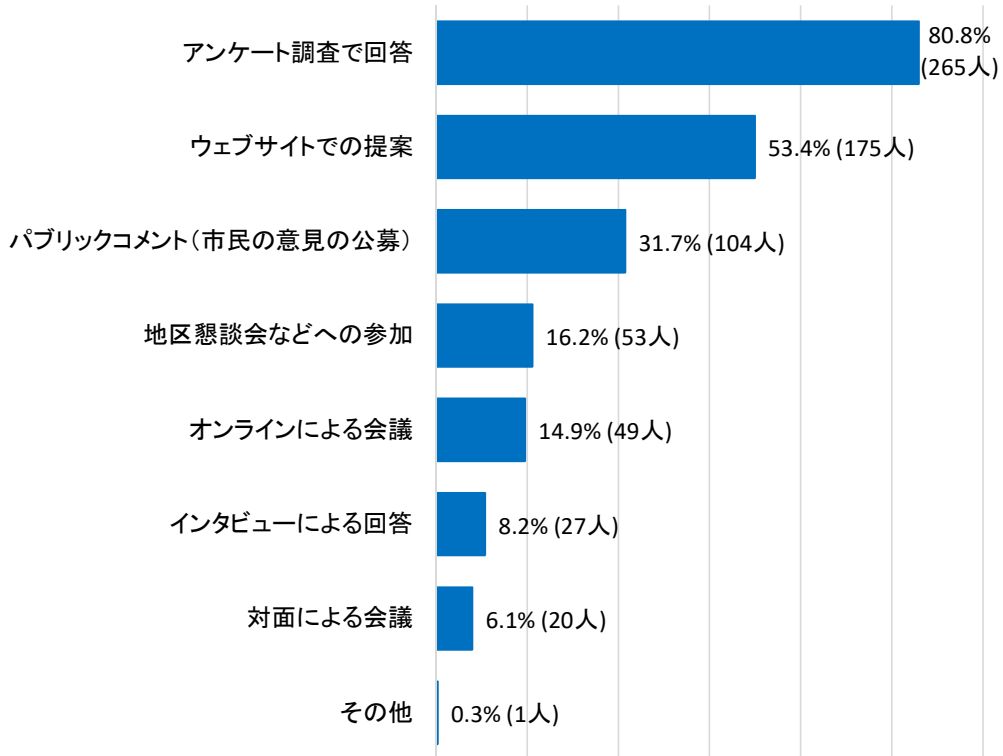
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・YouTube(YouTube広告)
- ・職員自らが宣伝する姿勢を持つ
- ・説明会の開催

基本指針をPRするにあたり効果が高いと思われる方法は、「市の広報紙」が61.3%で最も高く、次いで「テレビ」53.7%、「ソーシャルメディア(LINE、Facebook等)」、「市のウェブサイト」35.1%となっている。

問13 まちづくり基本指針の見直しなど市政の運営方針策定に参加する場合、どのような参加の形を希望しますか？（複数選択可）

（回答者：328人）



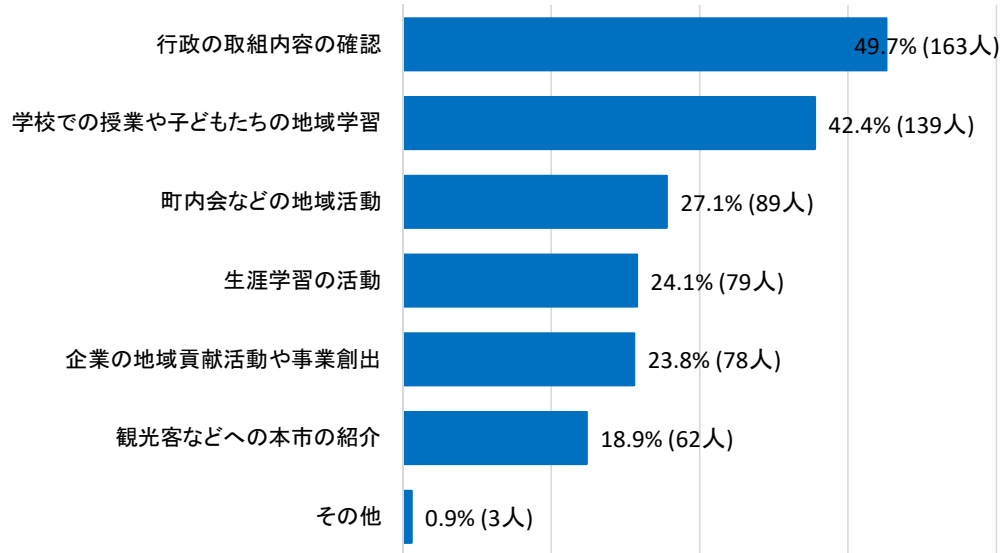
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・ありとあらゆる手段をとるべき

市政の運営方針策定に参加する形として、希望する形は「アンケート調査で回答」が80.8%で最も多く、次いで「ウェブサイトでの提案」53.4%、「パブリックコメント（市民の意見の公募）」31.7%となった。

問14 基本指針をどのような機会に活用してみたいと思いますか？（複数選択可）

（回答者：328人）



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・活用したいと思わない

基本指針を活用してみたい機会は、「行政の取組内容の確認」が49.7%で最も多く、次いで「学校の授業や子どもたちの地域学習」42.4%、「町内会などの地域活動」27.1%となっている。

## 問15 その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

（回答者：35人）

### まちづくり基本指針の認識について

- ・基本指針はとても重要なことだとは思いますが、一般の市民からの感覚からすると、身近に思えません。まず、そこから変えてもらいたいと思います。（40代・女性）
- ・この設問で見るまで全く知りませんでした。市のウェブサイトで確かめましたが、重要な取り組みだと思うので周知に努めて下さい。（70代・男性）
- ・郡山市まちづくり基本指針の進捗状況がわからない。またはPR不足。（60代・男性）
- ・基本指針を若い人が読んで、ワクワクする内容になっているかの確認をお願いします。（50代・男性）

### まちづくり基本指針の周知方法について

- ・広報をウェブサイトやメディアを使うのではなく、昔からやっている広報誌やパンフレットのような紙をベースにしてほしいです。（70代・男性）
- ・様々な機会で周知広報活動を継続することが肝要。（70代・男性）
- ・課題が大きいので地道に啓蒙活動をする必要があると思います。（70代・男性）

### まちづくり基本指針が目指す未来に向けて必要なこと

- ・コロナ禍のなか、郡山市自体が、色々な業種で、苦戦が強いられています。「郡山モデル」で、市独自の対応を期待しています。（50代・男性）
- ・人口減少社会でも持続可能な経済発展を目指す為に指針は不可欠です。行政のデジタル化、広域化、感染制御を成し遂げる為、目標とそれを達成する為の手段を明確にしなければなりません。情報技術、広域行政連携、官民連携、市民協働、民間資金導入等を取り入れて指針の実現につなげるべきですね。（50代・男性）
- ・今後の少子高齢化により行政の業務もAIやRPAを活用して効率化を図り、生み出した人員を環境と観光に力を入れて郡山市の活性化する必要があると感じています。（50代・男性）
- ・子ども達が大きくなった時も住みやすい町づくりをして頂きたいと思います。今は、コロナ対策をお願いします。（40代・女性）
- ・実施する事業はすべてわかりやすく、皆が参加できる体制づくりをする。（80代・男性）

### その他

- ・「郡山市まちづくり基本指針」については勉強不足でよく分かっていませんが、機会があって市役所の取り組みなど聞くことが出来て、その時、想像以上にIT化や、新しい技術が進んでいることに感動しました。郡山市は SDGsが2030年に達成可能なのではないかと心強く思いました。少子高齢化は進む一方、助けになるのはきっとDXでしょうし、色々な電子機器が不自由になる体の助けになってくれることを祈って、きっと明るい未来だと思います。郡山市の今後にますます期待しつつ私も少しでも勉強したいと思っています。（60代・女性）
- ・45年間全国16か所の転勤地で仕事を通じてまちづくりをしてきました。事例紹介できる機会や関係者との情報交流会開催してほしい。（70代・男性）